

「彼女が待ってる新宿（ ） 恋する切符 5,100 円」

格助詞「に」と「へ」のイメージ

杉村 泰（名古屋大学）

sugimura@lang.nagoya-u.ac.jp

1. 格助詞「に」と「へ」

次の（ ）の中に格助詞「に」と「へ」のうち適当なものを入れてみよう。

- (1) 彼が待ってる新宿（ ） 5,100 円で連れてって！

（名古屋鉄道、高速バス「名古屋 - 新宿線」）

- (2) 彼女が待ってる新宿（ ） 恋する切符、5100 円。

（同上）

益岡・田窪（1987：56）

へは人や物が動いていく方向を示すが、目的地を示すことほとんど区別なく使うことができる。

例 (3) こちら {へ/に} おいでの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

例 (4) やっと故郷 {へ/に} 帰って来た気がした。

野田（1991：48）

だいたい「へ」が使えるときは「に」に置きかえられますが、逆はだめです。図のように、「へ」のほうが狭く「に」のほうが広いということです。



しかし、次の「へ」は「に」に置き換えにくい。

- (3) （前/表/...）へ出る。（22 件） （前/表/...）に出る。（0 件）

（『茶漉』 <http://prairie.lang.nagoya-u.ac.jp/chakoshipub.html> による検索）

2. 調査

2003 年 7 月 7 日～16 日にかけて、名大の学部学生 200 人を対象に、格助詞で終わる広告コピーについてのアンケート調査をした。（各グループ 50 人）

グループX：広告コピーの後に続く述語を考えて入れる。

グループY：元の表現の「に」と「へ」を入れ替え、上の調査をする。

グループZ-1：元の表現の「に」と「へ」を隠し、どちらか適当な方を選ぶ。(+ 例文(1))

グループZ-2：同上のテスト。(+ 例文(2))

(4)a. できたてが、すぐそこに ()。(ガスト〔ファミリーレストラン〕)

...ある(42)、×(4)、届く(1)、迫る(1)、あなたのもとへ(1)、寝そべっている(1)

b. できたてが、すぐそこへ ()。(作例)

...やってくる(11)、×(11)、来る(10)、運ばれる(6)、届く(5)、出て来る(2)、現れる(1)、出される(1)、運ばれてきている(1)、並ぶ(1)、行けばある(1)

c. できたてが、すぐそこ () ...に(96) へ(4)

「に」は存在、「へ」は移動をイメージしやすい。

(5)a. 指先がマッサージ機に () ! (日本直販「フィンガーバイブレーター」)

...なる(17)、×(8)、なった(5)、早変わり(3)、変わる(3)、はまる(3)、はさまれた(2)、変身(1)、当たる(1)、はさまる(1)、触れる(1)、触る(1)、触れた(1)、入った(1)、やられた(1)、備わった(1)

b. 指先がマッサージ機へ () ! (作例)

...変わる(11)、×(7)、伸びる(4)、変化する(3)、早変わり(2)、変身する(2)、変身(2)、行く(2)、変身した(1)、変わった(1)、変化した(1)、向かう(1)、自然と進む(1)、近づく(1)、進化する(1)、GO(1)、ジャンプ(1)、入る(1)、入った(1)、入っているみたい(1)、吸い込まれる(1)、動く(1)、当たる(1)、触れる(1)、下ネタは受け付けません(1)

c. 指先がマッサージ機 () ! ...に(98) へ(2)

「に」は変化の結果、「へ」は変化の過程をイメージしやすい。

(6)a. 夢をカタチに () ... (シーアールイー「技術者募集」)

...する(22)、しよう(11)、変える(5)、×(3)、した(2)、しませんか(1)、してみたい(1)、してみよう(1)、変えよう(1)、移す(1)、直す(1)、表現する(1)

b. 夢をカタチへ () ..(作例)

...変える(20)、×(7)、変えよう(5)、表す(4)、する(3)、変えていく(2)、実現する(2)、実現(1)、変換する(1)、変化させる(1)、変化させよう(1)、移す(1)、した

い(1)、形作る(1)

c. 夢をカタチ()... ...に(87)へ(13)

「に」は変化の結果、「へ」は変化の過程をイメージしやすい。

(7)a. さらに、入れたての味わいに()。(作例)

...なる(12)、なった(7)、近づく(5)、×(4)、する(3)、した(3)、変わった(2)、進化した(2)、感動する(2)、変化した(1)、変わる(1)、近付いた(1)、近付ける(1)、進化(1)、出会う(1)、浸ろう(1)、感じよう(1)、興奮する(1)、感激(1)

b. さらに、入れたての味わいへ()。(J T「ルーツ」〔缶コーヒー〕)

...×(29)、変わる(4)、近づく(4)、進化する(3)、なった(2)、変化した(1)、近付いた(1)、進化(1)、行く(1)、近くなる(1)、こだわる(1)、こだわった(1)、誘い込む(1)

c. さらに、入れたての味わい()...に(49)へ(49)を(2)

「へ」は特定の述語を要求せず、それ自体が変化過程の意味を表す。

(8)a. いま、表現者の領域に()。(作例)

...×(9)、入る(7)、達する(3)、踏み込んだ(3)、踏み込む(2)、到/至る(2)、達した(2)、入った(2)、到達する(1)、到達した(1)、踏み入れる(2)、到達(1)、踏み込む(1)、踏み入れよう(1)、踏み込め(1)、侵入する(1)、移る(1)、向かう(1)、行く(1)、進出だ(1)、近づく(1)、革新が起こる(1)、入っている(1)、現れる(1)、見る(1)、いる(1)、する(1)

b. いま、表現者の領域へ()。(コシナ「一眼レフ用レンズ」)

...×(16)、入る(8)、飛び込もう(3)、踏み込む(4)、行く(4)、進む(2)、達する(2)、到達する(1)、到達した(1)、到達(1)、踏み入れる(1)、踏み出そう(1)、向かう(1)、迫る(1)、飛び込む(1)、行こう(1)、コンタクト(1)、エナジー(1)

c. いま、表現者の領域()...に(22)へ(77)を(1)

(変化過程を意識した文脈):「へ」が選択されやすい。

(類例): 走りも、一步先() (日産自動車「プリメーラ」) ...に(17)へ(83)

(1) 彼が待ってる新宿() 5,100 円で連れてって!

...「に」: 21 人(42%) 「へ」: 29 人(58%)

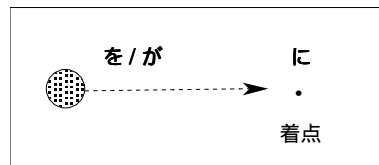
(2) 彼女が待ってる新宿() 恋する切符、5100 円。

...「に」: 3 人(6%) 「へ」: 47 人(94%)

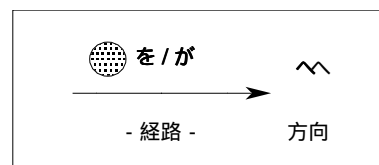
3. 格助詞「に」と「へ」のイメージ

「に」 = 着点重視。移動、変化の結果。「へ」 = 経路重視。移動、変化の過程。

[図 1] 「～を/が～に」のイメージ



[図 2] 「～を/が～へ」のイメージ



参考文献

杉村 泰 (2002) 「格助詞で終わる文について 「～を/が～に」構文と「～に～を」構文」『ことばの科学』15, pp.235-250, 名古屋大学言語文化部言語文化研究委員会

野田尚史 (1991) 『はじめての人の日本語文法』くろしお出版

益岡隆志・田窪行則 (1987) 『日本語文法セルフ・マスターシリーズ3 格助詞』くろしお出版

李 欣怡 (2002) 「格助詞で終わる広告ヘッドラインの述べかけ方」『平成 14 年度日本語教育学会第 3 回研究集会予稿集』, pp.93-96, 日本語教育学会

(本発表は平成 14-15 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 「日本語電子化コーパスの利用による日本語文法教育の研究」(課題番号 14780160) による研究成果の一部である。)

[資料 1]



[資料 2]



(資料提供 名古屋鉄道)